

グローバル教育に関する意識調査【調査概要】

■ 調査目的：

急速に進むグローバル化の流れの中で、当事者である若者（学生）と子どもをもつ親に対してグローバル化および日本のグローバル教育に対する意識を把握する。

■ 調査対象者：

- ① 高校2年生・大学3年生
※ 高校2年生は大学進学予定者子どもを
- ② 小学校高学年／中学生／高校生の子どものもつ親（父親・母親）
※ 子どもを大学に行かせたい（行くのは当然と思っている）親

■ サンプル構成：計1,030サンプル（親618サンプル、学生412サンプル）

親		
子どもの学年	属性	サンプル数
小学校高学年	父親	103
	母親	103
中学生	父親	103
	母親	103
高校生	父親	103
	母親	103

学生		
学年	性別	サンプル数
高校2年生	男子	103
	女子	103
大学3年生	男子	103
	女子	103

■ 調査手法：インターネット調査

■ 調査時期：2013年3月1日～3月4日

■ 調査エリア：全国

■ 主な調査項目

- ・ グローバル化についての意識全般
- ・ グローバル教育の現状についての捉え方
- ・ グローバル社会に必要な力
- ・ 海外大学の認知
- ・ 海外大学への留学・進学意識
- ・ 海外大学への留学・進学意向／意向・非意向理由
- ・ 海外大学の認知／認知内容
- ・ グローバル企業への就職意向／意向・非意向理由

■ 調査実施：株式会社アサツー ディ・ケイ